

スポーツマネジメント研修		実習	国際交流委員会	
科目カテゴリー	スポーツマネジメントコースの教養 選択科目、スポーツトレーナーコー スの教養選択科目		科目ナンバリング	11220135

1. 授業のねらい・概要

スポーツマネジメントに関して、その最先端を走るアメリカ合衆国において、米国 4 大プロスポーツのひとつである MLB 傘下ミルウォーキー・ブルワーズの春季トレーニングキャンプ（於：メリーベールベースボールパーク、アリゾナ州フェニックス市）を視察し、プロとは異なる地域密着型のアマチュアスポーツの現場例として、CSUF（カリフォルニア州立大学フラトン校）における強化指定部活動の運営を視察する（順序は現時点では未定）。また、柔道整復師やスポーツトレーナー、教職など指導者を目指す学生のために、上記 2 施設において、アメリカの科学的なスポーツ外傷・障害予防の取り組みに関して学び、実際に CSUF 所属学生アスリートに対するケアや指導を体験する。アメリカにおけるそれらの取り組みは世界をリードしており、その理論と実践は選手としても、またトレーナー等を目指す者としても非常に貴重な体験となる。

2. 授業の進め方

後学期期間中に計 3 回の事前授業を実施し、春休み（3 月上旬）にロサンゼルスへ渡航する。メリーベールベースボールパークならびに CSUF 施設にて研修（順序は現時点では未定）、スポーツ外傷・障害予防の取り組みについて学び、指導実践を体験する。帰国直後にレポートを提出。

3. 授業計画

①実施までに少なくとも 3 回の事前授業として、海外渡航に関する注意喚起、視察箇所に関する事前知識、ESTA、旅行保険加入の手続き、英語等に関する講義。	③その他、メリーベールベースボールパークを視察。
②研修期間は 5 泊 7 日とし、CSUF にて、スポーツ外傷・障害予防の取り組みを研修し、実践も行う。	④帰国後にレポートを提出。

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

パスポートや ESTA、旅行保険、キャッシュカードなどの取得に関して、期限を設けているため、その期限までに各自しっかりと準備すること。また、渡航先の文化、気候、地理的情報、社会情勢等に関して調べて、質問等をまとめておくこと（2 時間程度）。日本国籍以外で米国入国に際し、ビザが必要な学生は十分な時間的余裕をもって自分で取得すること。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

帰国報告会にて研修レポートのフィードバックを行い、意見交換等実施する。

6. 授業における学修の到達目標

日本と外国のスポーツマネジメントに関する違いや最先端のトレーニング理論に関する知識を得ることを目標とする。

7. 成績評価の方法・基準

事前授業の受講態度、各施設視察、レクチャー、トレーニング体験などへの積極性（70%）、帰国後レポート（30%）の提出にて総合的に評価する。事前授業への不参加・態度不良、準備の遅れによっては、国際交流委員会の判断で、参加を諦めてもらうことがある。

8. テキスト・参考文献

事前授業や現地各地で配布される資料を用いる。

9. 受講上の留意事項

- ① 日程等の詳細は別途校内ポスター，掲示板にて告知する。費用は渡航費，宿泊費，各種施設研修費であり，合計で50万円前後を予定している（参加人数，為替の変動等で変更の可能性あり，また飲食費・遊興費等は除く）。
- ② 最小催行人数は10名であり，それに満たない場合は実施されない。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当なし。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。